

第1回専門領域推進部内部障がい理学療法領域症例検討会 活動報告書

日時：令和4年8月18日（木） 18:30～20:00

形式：オンライン開催（Zoom）

内容：1. 糖尿病に関する症例検討

発表者：荒井珠美（公立置賜総合病院） 座長：村山直（寒河江市立病院）

2. 心不全に関する症例検討

発表者：黒坂浩平（県立新庄病院） 座長：須貝雄大（公立置賜南陽病院）

参加人数：46名

内容の詳細：

症例検討会では疾病や病態の基本や目標設定に関すること、症例の個別性他、多くの質疑があり、活発な討議が行われた。

第一席：荒井珠美氏の報告ではアドヒアランスが低下した糖尿病患者に対して療法士としてどのように声をかけ、関わることで本人が病気と向き合い、運動療法に取り組む姿勢や日常生活における行動変容をもたらすことが出来るのかといった難しい課題に向き合う報告を頂いた。座長を含め参加者からも質問・意見を頂き実りある検討が出来た。

第二席：黒坂浩平氏の報告では重度心不全を呈した症例に対して循環器のリスク管理を踏まえたうえで、療法士としてどんな介入が出来るか、また他職種とどのように連携を図っているのかといった報告を頂いた。参加者からは具体的な運動処方に関する質問や嫌気性代謝閾値を超えた場合に起こる弊害に関して質問が出ており、学びの多い検討が出来た。

本年より日本理学療法士会での新生涯学習システムが導入されたが、参加申し込みにおいて履修状況がわからずポイントの申請方法に戸惑う場合もみられていた。わかりやすい案内等も必要と思われるが、今後このような機会を重ねることで新システムへの慣れや経験が参加者、開催側双方に必要なもの思われた。

また生涯学習履修に必要な参加者はもちろんのこと、ポイント付与に関係しない会員の参加を含め多くの参加がみられ、内部障がい領域に対する関心の高さが伺えた。

文責 本間豪